ボーリング柱状図

調　査　名　香住丘公民館･老人いこいの家複合施設改築工事地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo										

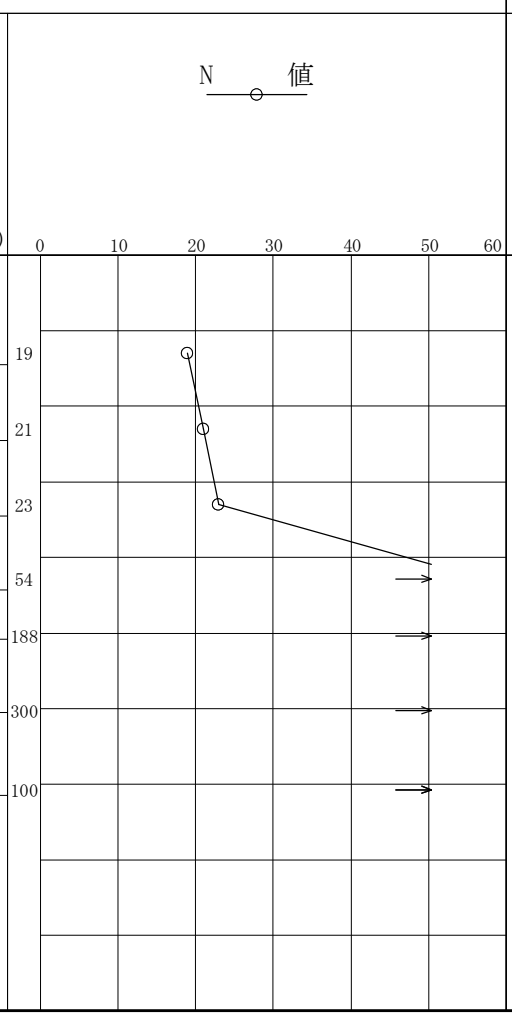
シートNo

ボーリング名	Ｎｏ．２	調査位置	福岡市東区香住ヶ丘1丁目27番1号							北緯	33° 40’ 11.38″
発注機関	福岡市財政局 アセットマネジメント推進部 施設建設課			調査期間	平成 25年 11月 5日 ～ 25年 11月 6日					東経	130° 26’ 8.57″
調査業者名	アイアール株式会社 電話（092-409-6363）	主任技師	隅田 真文	現場代理人	隅田 真文	コア鑑定者	隅田 真文			ボーリング責任者	原 宏嗣
孔口標高	KBM +0.54m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	D－0	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	7.00m								エンジン	NFAD－8	ポンプ	BG－3

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事		孔内水位(m)／測定月日
	-0.26	0.80	0.80		盛土(礫質土)	褐灰			造成盛土。盛土材は、φ3～5cm,最大φ10cmの角礫からなる。0.7～0.8m間は、砕石。	第四紀	
1 2 3	-3.46	3.20	4.00		強風化砂岩(砂質土)	褐灰			砂岩強風化残積土。岩組織明瞭に残すものの強風化により土砂化し土棒状コアにて採取される。指圧で潰せ砂質土状を示す。	古第三紀	
4 5 6 7	-6.46	3.00	7.00		風化砂岩（軟岩）	褐灰			砂岩風化部。5.0mまでは、岩組織明瞭に残すものの風化により土砂化し土棒状コアにて採取される。 以深は、10cm程度の短柱状コアにて採取される。 全体に酸化褐色化し、軟質化している。		
8 9											

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	4	7	8	19／30	19
1.45 2.15	6	7	8	21／30	21
2.45 3.15	6	8	9	23／30	23
3.45 4.15	14	17	19／8	50／28	54
4.43 5.00	50／8			50／8	188
5.08 6.00	50／5			50／5	300
6.05 7.00	20	30／5		50／15	100
7.15					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
						11／6

・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。